

病床の整備計画の公募について

千葉県 健康福祉部 医療整備課医療指導班
電話番号：043-223-3884

千葉県保健医療計画の中間見直し（令和4年1月）に伴う病床の整備については、令和4年6月に整備計画を公募し、県医療審議会等の意見を聴取した上で、令和5年3月に病床の配分を実施したところです。

東葛南部保健医療圏及び東葛北部保健医療圏においては、更なる病床の整備が必要なことから、整備計画の公募を令和5年8月1日から8月31日まで行ったところ、応募結果は以下のとおりとなりました。

1 応募結果

一般病床・療養病床（二次保健医療圏別）

保健医療圏	配分予定病床数※	計画書受付
東葛南部	459床	745床（7者）
東葛北部	224床	754床（7者）
計	683床	1,499床（7者）

※配分予定病床数は、既存病床数の変動等により、変更する予定です。

2 応募条件

「令和5年度の病床配分について」（千葉県医療審議会病院部会了承済）に沿う病床の整備計画であること。

令和5年度の病床配分について

【病床の配分の方針】

- (1) 病床の配分に当たっては、千葉県保健医療計画(令和4年1月改定)における医療提供体制の整備方策との整合性を図る必要がある。
- (2) 具体的には、二次保健医療圏（地域医療構想における構想区域）ごとに不足する病床機能を担う病床であることを原則とし、地元市、地区医師会及び地域医療構想調整会議等の意見を考慮し、下記の優先順位により、基準病床数の範囲内で配分を行う。
ただし、不足する病床機能以外の機能の病床を整備しようとする場合において、書面によりその理由等が明確にされた病床の整備計画については、配分について配慮する。
- (3) 医療法第7条第3項の規定により、知事の許可を受けなければならないとされている有床診療所についても病床配分の対象とする。
- (4) 令和7年12月末までの整備又は着工を条件とする。

【優先順位】

千葉県が目指すべき医療提供体制を実現するための施策に沿う次の病床について、優先して配分を行う。

- ア 地域医療構想の各構想区域において不足している医療機能に係る病床 ※
- イ その他、千葉県保健医療計画の実現に向けて必要な病床

※ 病床機能報告結果等による当該区域の機能別病床数と必要病床数を比較して、不足している医療機能にかかる病床のこと。

3 今後のスケジュール

令和5年11月初旬

令和6年1月～2月頃

地域医療構想調整会議等での応募者による説明
千葉県医療審議会病院部会において審議の上、
病床配分の決定、応募者へ通知

別添一覧表

公募対象医療圏の機能別病床数及び必要病床数

(単位：床)

区域	医療機能	必要病床数	病床機能報告	差し引き
		A	B	B-A
東葛南部	高度急性期	1,376	1,720	344
	急性期	4,783	5,340	557
	回復期	4,072	1,904	△ 2,168
	慢性期	2,779	1,875	△ 904
東葛北部	高度急性期	1,386	2,024	638
	急性期	4,227	4,217	△ 10
	回復期	3,647	1,226	△ 2,421
	慢性期	2,439	2,075	△ 364
二医療圏計	高度急性期	2,762	3,744	982
	急性期	9,010	9,557	547
	回復期	7,719	3,130	△ 4,589
	慢性期	5,218	3,950	△ 1,268

※病床機能報告B欄は、令和4年度病床機能報告（確定値）です。

病院開設（増床）計画 応募一覧

医療圏	東葛北部
-----	------

No.	病院名	予定地
1	東松戸福祉医療センター（仮称）	松戸市高塚新田
2	新松戸中央総合病院	松戸市新松戸
3	キッコーマン総合病院	野田市宮崎
4	おおたかの森病院	柏市豊四季
5	柏たなか病院	柏市小青田
6	流山八木病院（仮称）	流山市古間木
7	平和台病院	我孫子市布佐

病院開設計画 概要書

- 1 増床予定者・所在地
医療法人徳洲会 理事長 東上 震一
大阪府大阪市北区梅田 1-3-1 大阪駅前第一ビル 12F
- 2 開設病院等の名称・所在地
(仮称) 東松戸福祉医療センター
千葉県松戸市高塚新田 123 番地 13
- 3 開設予定の病床種別・病床機能・病床数

病床種別	病床機能区分	病床数			開設する 病床の入院基本料
		既存	開設予定	開設後	
一般病床	急性期	0	30	30	急性期一般入院料
一般病床	回復期	0	100	100	回復期リハビリテーション病棟入院料
一般病床	回復期	0	48	48	地域包括ケア病棟入院料
一般病床	慢性期	0	20	20	緩和ケア病棟入院料
計		0	198	198	

- 4 開設の目的・必要性
松戸市立福祉医療センター東松戸病院跡地活用事業者公募型プロポーザルへの申請を行っております。提案条件として、「複数の外来診療科及び入院機能をもった病院の整備」、「松戸市内、東部地区に必要な回復期・慢性期を中心とした、180床程度の病院の整備」、「在宅医療や外来通院を含めた、地域で暮らしている患者を受け入れることができるような、入院機能や他院との連携強化」がありますが、現松戸市立福祉医療センター東松戸病院の機能（回復期・慢性期）は維持し、在宅、軽症患者の急病者の初期治療にも対応できる病院を開設し、地域の方々が今以上に安心して住み続けられるような地域づくりに尽力したいと考えております。
- 5 開設予定の病床数の積算根拠
千葉西総合病院の2022年度の数値を参考に算出しました。全退院患者(19,115名)の転院先等の内訳比率は、一般病床へ2.4%、回復期リハビリ病院へ3.1%、老人ホーム・老健施設系へ5.2%、在宅系へ2.6%でした。自宅退院患者以外の比率は約13.5%でした。また、全入院患者年齢比率は70歳以上が6割を超えています、平均在日数は10日であるが、高齢者の平均在院日数は15日超と長く、30日を超える患者が常時100名/日程度おり、占床率17%を示しております、また、介護度や医療依存度も必然的に高くなっており、千葉西総合病院のような急性期病院は転院先医療機関の施設探しに日々苦慮している状態であり、他医療機関も同様の問題を抱えていると推察します。以上のことから回復期リハビリテーション病床と、在宅からの入院と在宅復帰を支援する病床を柱に、地域包括ケア病床と亜急性期病床を有する医療施設の開設申請をさせて頂きたいと考えております。
- 6 医療従事者確保の方策
全国にあるグループ病院の強みを生かし、全国各地より各職種の人員確保を行っていきたいと考えており、近隣医療機関への人員の影響は少ないと考えています。不足人員においては、近隣の系列である千葉西総合病院や千葉徳洲会病院、鎌ヶ谷総合病院より協力を頂くことも検討しております。

病院増床計画 概要書

- 1 増床予定者・所在地
医療法人財団明理会 理事長 中村 哲也
東京都板橋区本町 36 番 3 号
- 2 増床病院等の名称・所在地
新松戸中央総合病院
千葉県松戸市新松戸一丁目 380 番地
- 3 増床予定の病床種別・病床機能・病床数

病床種別	病床機能区分	病床数			増床する 病床の入院基本料
		既存	増床予定	増床後	
一般病床	急性期	207	18	225	急性期一般入院基本料 1
一般病床	高度急性期	135	0	135	
計		342	18	360	

- 4 増床の目的・必要性
当院は令和 5 年 10 月に新松戸高精度放射線治療センターを開設いたしました。放射線治療を開始すると共に、緩和ケア医療にも注力したいと考えております。また令和 6 年 4 月には新たに婦人科（新規標榜）、乳腺外科及び耳鼻咽喉科において入院・手術診療を開始します。当院の病床稼働率は現状 96%（直近 3 年の平均）となっており、現在手術に対応するまでに時に 1~2 ヶ月時間を要する場合もあり、病床が不足していることも要因のひとつとなっております。また満床による救急車受入困難な事例も発生しております。今後新たに 5 診療科の入院機能を有していくには増床が必要不可欠であると考えております。当院はがん治療を強みに日々診療に取り組んでおります。より一層のがん診療機能の充実と診療力向上を目的とし、より高水準な医療を提供していくためにも急性期病床 18 床の増床を希望いたします。
- 5 増床予定の病床数の積算根拠
当院は JR 新松戸駅より徒歩 3 分という患者さんにとって好立地である一方、周囲の利用できる土地が限られているため病棟の拡張などが困難な状況です。
増床許可をいただいた暁には既存棟の管理部門を隣接地へ移管することで空間を確保する予定でございます。医療機関としてより多くの患者さんを受け入れることで、地域に対しより一層の貢献をしたく、確保が可能な最大病床数である 18 床を希望いたします。
- 6 医療従事者確保の方策
当院では年間の採用計画に基づき、採用活動を行っております。主な方法としては求人媒体への掲載、派遣・紹介会社の利用が挙げられます。採用実績については概ね順調で年間計画通り進んでおります。看護職員については、当グループにて、看護学校を 2 校（東京、神奈川）に有しており、毎年 10 名程度の採用がございました。さらには当院にて奨学金制度を導入しており、こちらも毎年 10 名程度の採用をしております。そのため、増床に伴う大幅な雇用計画はございません。また、近隣の医療機関に影響を及ぼしうる採用活動（賃金水準の著しい引き上げなど）を行うことなく人材確保は可能であると存じております。

病院増床計画 概要書

- 1 増床予定者・所在地
 キッコーマン株式会社 代表取締役社長 中野 祥三郎
 千葉県野田市野田 250
- 2 増床病院等の名称・所在地
 キッコーマン総合病院
 千葉県野田市宮崎 100
- 3 開設（増床）予定の病床種別・病床機能・病床数

病床種別	病床機能区分	病床数			増床する病床の入院基本料
		既存	増床予定	増床後	
一般病床	急性期	83床	46床	129床	急性期一般入院基本料1
一般病床	回復期	46床	34床	80床	回復期リハビリテーション病棟入院料
計		129床	80床	209床	

- 4 増床の目的・必要性
 今回、野田市の地域中核病院として、新型コロナウイルス罹患患者の受入を経験した当院ですが、病床数が3つしかないため、一旦新興再興感染症を受入れると3病棟のうちの1病棟を実質大幅な減少を余儀なくされてしまうため救急受入等一時的に制限せざる負えない事態が生じました。また整形疾患の強味を発揮する当院において、手術後の十分なリハビリを提供する回復期リハビリ病棟の整備を計画しています。具体的には、今回新たに40床の2病棟計80床の増床を計画し、既存の地域包括ケア病棟を急性期病棟へ転換し、有事の際には、新興再興感染症も病棟全体で受入可能な病棟として再整備し、新たに増床する2病棟には、既存機能の地域包括ケア病棟、更に現在十分な医療機能の提供が出来ていない回復期リハビリテーション病棟として整備したいと考えます。
- 5 増床予定の病床数の積算根拠
 増床病床数：回復期機能（回復期リハビリテーション病棟1病棟、地域包括ケア病棟1病棟 計80床）
 積算根拠：
 ① 当院から整形疾患（大腿骨頸部骨折手術後等）急性期病棟からの転院患者として、回復期リハビリテーション病棟への適応患者としては、22年度228人×60日（回復期リハ病棟平均在院日数）＝13680日/365日＝37床が本来当院で提供すべき医療提供体制と考えている。
 ②22年度地域包括ケア病棟46床病床稼働率81.4%（コロナ確保病床除く）
- 6 医療従事者確保の方策
 基本的には、新卒採用にて、数年をかけて採用を行う事により、近隣の他病院への医療従事者確保に影響を与えない方針となります。
 医師についても都内大学病院からの派遣を基本として、近隣の他病院への医療従事者確保に影響を与えない方針とします。

病院増床計画 概要書

- 1 増床予定者・所在地
医療法人社団誠高会 理事長 松倉 聡
千葉県柏市豊四季 113
- 2 増床病院等の名称・所在地
おおたかの森病院
千葉県柏市豊四季 113
- 3 増床予定の病床種別・病床機能・病床数

病床種別	病床機能区分	病床数			増床する病床の入院基本料
		既存	増床予定	増床後	
一般病床	高度急性期	44	0	44	
一般病床	高度急性期	49	1	50	一般入院基本料 1
一般病床	急性期	48	1	49	一般入院基本料 1
一般病床	急性期	33	1	34	一般入院基本料 1
一般病床	急性期	33	1	34	一般入院基本料 1
一般病床	高度急性期	33	1	34	一般入院基本料 1
一般病床	回復期	42	1	43	地域包括ケア入院料 2
計		282	6	288	

4 増床の目的・必要性

COVID-19 が 5 類になってからも、これまでの重点医療機関に患者が集中している状況は変わりません。救急患者等の受入れ時に陽性である事が判明したり、感染を強く疑う症例（クラスター施設から発熱者の搬送等）に対応する為には隔離を要する場合があります。現状でも以下の症例に対応する事が多くあります。

- ① 高度急性期疾患（心筋梗塞や緊急手術を要する症例等）に感染症が合併したもの
- ② 急性期疾患として酸素を必要とするコロナ肺炎
- ③ 慢性期として高齢者施設からの陽性患者

当院は感染管理向上加算 1 を取得しており、COVID-19 及び、今後の新興感染症に対応する為、各病床機能について隔離が可能となる個室の増床を希望します。

5 増床予定の病床数の積算根拠

この度の増床計画は、現在病床として扱われていないリカバリー室を個室へと転換する申請の為、各病棟にあるリカバリー室の数を計上しております。

6 医療従事者確保の方策

この度の増床計画において、各病棟が満床となった時も日勤、夜勤としての必要人員に変化がない為、新たな雇用計画は必要ありません。

病院増床計画 概要書

- 1 増床予定者・所在地
医療法人社団葵会 理事長 新谷 幸義
千葉県柏市小青田1丁目3番地12
- 2 増床病院等の名称・所在地
柏たなか病院
千葉県柏市小青田1丁目3番地2
- 3 増床予定の病床種別・病床機能・病床数

病床種別	病床機能区分	病床数			増床する病床の入院基本料
		既存	増床予定	増床後	
一般病床	急性期	134	84	218	一般病棟入院基本料4
一般病床	回復期	60	36	96	回復期リハビリテーション病棟入院料1
一般病床	慢性期	144	64	208	障害者施設等入院基本料
療養病床	慢性期	174	40	214	療養病棟入院基本料
計		512	224	736	

- 4 増床の目的・必要性
当院ここ数年で救急受入台数が年々急激に増加しており3年前との比較でも3倍以上、外来患者様も1.5倍以上増えており病床が不足しております。
地域におきましても、柏たなか地域は年々人口増、TX柏たなか駅利用者数も急激に増えており、将来的にも更に当院を利用される患者様がが増えてくることは確実であると考えており、今回増床計画を提出させて頂きました。
- 5 増床予定の病床数の積算根拠
今後の地域における当院の役割といたしましては、総合的な機能を有する病床が必要になると考えております。
まず欠かせない機能は救急・外来受診者増に伴う急性期機能であり、急性期病棟を2病棟84床増やして参りたいと考えております。
回復期に関しましては救急・外来患者増に伴う手術件数の増に加え、近隣医療施設からの手術依頼も非常に増えているのですが、現状の回復期病床数では術後患者様の病床空きの待機待ちや、当院かかりつけ患者様で手術を行った患者様であっても他医へ転院して頂かざるをえない事象も発生しており、回復期病床を36床増やし改善して参りたいと考えております。
慢性期機能に関しましては、当院は透析・脳疾患障害等患者様の入院紹介が非常に多いのですが対象病棟の満床状況が多く、入院治療を行う該当病棟である障害者病棟64床を増やしたく、又、当地域で不足とされております療養病棟に関しましては急性期治療後、又、これからの高齢化社会におけるの受け皿としても40床の増を行いたいと考えております。
- 6 医療従事者確保の方策
人材確保につきましては全国に展開する葵会グループが運営する看護師・看護助手養成校の卒業生がグループ内施設に多く就職・在籍しており、スケールメリットを活かし人員の確保が可能と考えております。

病院開設計画 概要書

- 1 開設予定者・所在地
 医療法人杏林会 理事長 石山 隆
 東京都目黒区中央町2丁目5番12号
- 2 開設病院等の名称・所在地
 (仮称) 流山八木病院
 千葉県流山市古間木 259 番 1 他
- 3 開設予定の病床種別・病床機能・病床数

病床種別	病床機能区分	病床数			開設する病床の入院基本料
		既存	開設予定	開設後	
一般病床	急性期	0	74	74	急性期一般基本料 1
一般病床	回復期	0	50	50	地域包括ケア病棟入院料 2
一般病床	回復期	0	100	100	地域一般入院料 1
計		0	224	224	

- 4 開設の目的・必要性
 【流山市の現状】

- ◆ 急性期病院数：柏 12, 松戸 11, 我孫子 7, 野田 4, 流山 3 病院。
 人口 10 万人当たり急性期病床数：柏 611.6、松戸 473.8、我孫子 403.8、野田 342.4、流山 246.0 床であり、市の医療体制は、県下 37 市の内 31 位と最下位水準。
- ◆ 救急搬送件数 10,405 件の内、市内 3 病院の受け入れ率は 43.4%に留まり、搬送件数の半数以上が他市の医療機関での受け入れとなっています。
- ◆ 東葛北部医療圏における 2025 年回復期病数が、全体 1,400 床に対して流山市は 235 床で、約 16.8%にとどまります。

人口が急増する流山市の病床不足の現状を踏まえて、これらの問題の解決のため、今回病院開設を計画しました。

本計画は、流山市様の要望に基づき協議の上、計画立案したものです。

本計画により、流山市東部地域の地域医療になくてはならない病院を目指します。

特に、救急・総合診療科と内視鏡センター機能を備えることにより、地域の医療機関と連携をはかり、地域の皆さまに貢献してまいります。

- 5 開設予定の病床数の積算根拠
 - ・ 救急対応・急性期の不足を補うのため、急性期 74 床
 - ・ 回復期の不足を補うため、回復期 150 床
 以上流山市の病床の現状を踏まえ、計画しました。
- 6 医療従事者確保の方策
 - ・ 法人（系列も含めて）内で、立上げ専門メンバーを人事異動にて選抜します。
 - ・ 系列の看護系大学や看護専門学校の新卒生の積極採用。
 - ・ 外国人人材の積極採用（外国人看護職、外国人特定技能介護）。

病院増床計画 概要書

- 1 増床予定者・所在地
医療法人社団創造会 理事長 土井 紀弘
千葉県我孫子市布佐 834-28
- 2 増床病院等の名称・所在地
平和台病院
千葉県我孫子市布佐 834-28
- 3 増床予定の病床種別・病床機能・病床数

病床種別	病床機能区分	病床数			増床する病床の入院基本料
		既存	増床予定	増床後	
一般病床	急性期	18	2	20	緩和ケア病棟入院料1
一般病床	急性期	86	0	86	
一般病床	回復期	40	2	42	地域包括ケア病棟入院料1
療養病床	回復期	40	0	40	
計		184	4	188	

- 4 増床の目的・必要性
 - ① 地域包括ケア 2床
地域包括ケア病棟は、急性期治療を終えた患者の在宅復帰を支援したり、自宅で過ごしている方が急に入院の必要が生じた際の受入病棟になるなど、地域包括ケアシステムを支える病棟であり、千葉県の病床整備計画において現在不足している回復期の機能を有する病棟です。この病棟は、今後この地域においても需要がさらに増える見込みであり、当院でもその役割の一端を担いたいと考えております。
 - ② 緩和ケア 2床
癌による痛みや不安を和らげ、穏やかに過ごして頂く為には、自宅に近い環境と専門の医療スタッフを備えた緩和ケア病棟が必要だと考えますが、東葛北部医療圏では癌を死因とする死亡者数が年間 4,200 人いるのに対して、同圏内にある緩和ケア病棟の病床は 150 床にも満たない状況である為、この度の病床整備計画に応募させて頂くことといたしました。
- 5 増床予定の病床数の積算根拠
 - ① 地域包括ケア 2床
これまでの病棟再編の過程で既存の地域包括ケア病棟に 2 床分の空きスペースがあり、費用や時間をかけずとも稼働させることできる。
 - ② 緩和ケア 2床
当院では平成 26 年 4 月 1 日より 20 床の緩和ケア病棟を開設しましたが、内 2 床を令和元年 8 月 1 日に病棟再編の過程の中で地域包括ケア病棟へ移動した為、個室 2 床分が予備室となっております。
- 6 医療従事者確保の方策
追加採用はございません。